

教科	科目	学年	単位数
技術・家庭	技術分野	1年	1
使用教科書		副教材	
開隆堂 技術・家庭 (技術分野)			

1. 学習到達目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

2. 評価と観点と方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術について基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>主に小テスト、定期テスト、作品などを総合的に評価する。</p>	<p>生活や社会の中から技術に関する問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>主に小テスト、定期テスト、作品などの表現力を総合的に評価する。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>主に提出物、授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する。</p>

3. 学習内容 (右ページ参照)

4. その他 (科目の特徴や学習の注意点など)

- ・ 常に生活を支えるいろいろなものに関心を持ち、もののしくみや作りを観察し、疑問や知りたいことを見つけましょう。
- ・ 技術分野はものづくりなどの実践的・体験的な学習内容が多くあります。安全に注意して、集中して作業に取り組み、自分の技術を高めましょう。

	月	単元	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期		[ガイダンス]	1. 技術分野の学習 2. 技術を見つけよう 3. 技術とわたしたちの生活	・ 3年間の学習内容を知ろう。 ・ 身近な生活の中に様々な技術が生かされていることに関心を持ち、その役割に気づいていこう。
	4月	[材料と加工に関する技術] ＜製図＞	・ キャビネット図 ・ 等角図	・ 表示の原理を知り、表現できるようにしよう。 ・ 図面表示の J I S 規格を理解しよう。
	5月		・ 正投影図	
	6月	＜さまざまな材料の特徴＞	・ 材料の性質、特徴① ・ 材料の性質、特徴②	・ 木材をはじめ色々な材料について関心を持ち、特徴を理解しよう。 ・ 身の回りにある製品に使われている材料の種類を知ろう。
	7月	期末試験		・ 身の回りにある製品に使われている材料の利用方法を知ろう。
	9月	[材料と加工に関する技術] ＜部品表と工程表＞	木製品の設計① 木製品製作に用いる道具	・ 機能、デザイン、丈夫な構造を考え、オリジナル作品の設計をしよう。 ・ 道具の特徴を知り、作品の再検討をしよう。 ・ 道具の特徴を知り、安全な作業に必要なことを考えよう。
	10月			
11月	＜けがき・切断＞	木製品の製作実習 ①けがき ②部品取り ③部品加工	・ けがきの役割と切りしろ、削りしろの必要性を知り正確にけがきをしよう。 ・ さしがねの使い方を覚えよう。 ・ 木材を切断する両刃のこぎりの原理を体験しながら作業を進めていこう。 ・ 加工の場所や形状によって様々なこぎりがあることを理解しよう。	
12月	期末試験			
二学期	1月	＜部品の修正＞	④部品の検査と修正 ⑤組み立て	・ 木材を切削するやすり等の仕組みを理解しながら正確に切削を行なおう。 ・ 仮組み立てをしながら、部品の修正をしよう。
	2月	＜組立て＞	⑥作品の表面仕上げ ⑦製作のまとめ	・ 接合の順序を考慮し、釘の下穴をあけ、接着剤を用いて効果的に作業を進めよう。
	3月	[社会・環境とのかかわり] 学年末試験	⑧環境とのかかわり ⑨製作レポート	・ 紙ヤスリ、木工用ヤスリの形状や使用方法を理解しよう。 ・ 表面の保護について考えよう。 ・ 製作を通しての考察をレポートに完成させよう。 ・ 材料と加工に関する技術が、社会や環境に果たしている役割と影響について理解を深めよう。
三学期				